


教員紹介

氏名	梅津 真	
所属	経営情報学部 システム情報学科	
職名	教授	
略歴	<p>1976年3月北海道大学文学部独文科卒業 1983年3月北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得満期退学 1983年4月駒澤大学北海道教養部ほか非常勤講師 1989年4月～北海道情報大学経営情報学部（講師、助教授） 2001年10月～2003年8月ミュンヘン大学日本学科客員教授 2006年4月北海道情報大学経営情報学部システム情報学科教授</p>	
学位	文学修士（1979年北海道大学）	
地域協力・産学連携など	ドイツ語、ドイツ文学、ヨーロッパ、ユダヤ文化に関する市民向け講座の講師	
専門及び研究分野	ドイツ文学、ヨーロッパ・ユダヤ精神史、西洋哲学、解釈学、ドイツ語教授法	
主たる研究業績	<p>著書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「隠喩のポテンシャル」北海道大学言語文化部、2000（共著） ・「偏在するメタファー」北海道大学言語文化部、2005（共著） <p>論文：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斧としての文学、北海道大学独語独文科研究年報第11号、1984 ・カフカとユダヤ性に関する一考察、北海道大学独語独文科研究年報第20号、1993 ・カフカと解釈学的現象学、北海道情報大学紀要第7,8号、1996 ・P.リクールの解釈学、北海道情報大学紀要第10号、1998,1999 ・リクールにおける隠喩の問題、北海道大学言語文化部研究叢書39号、2000 ・リクールの「物語的自己同一性」、北海道大学言語文化部研究叢書60号、2005 <p>翻訳：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デュレンマットの「トンネル」、ブレーメン館第5号、2007 <p>その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツレポート、ブレーメン館創刊号～第6号、エッセー、創作等 	
所属学会及び各種委員	日本独文学会、北海道独文学会、情報文化学会	
社会的活動	同人誌「ブレーメン館」編集長、日本独文学会北海道支部選出理事、北海道大学文学部同窓会役員、本荘高校同窓会役員、学内懸賞論文選考委員	